

# 最近の雇用情勢について

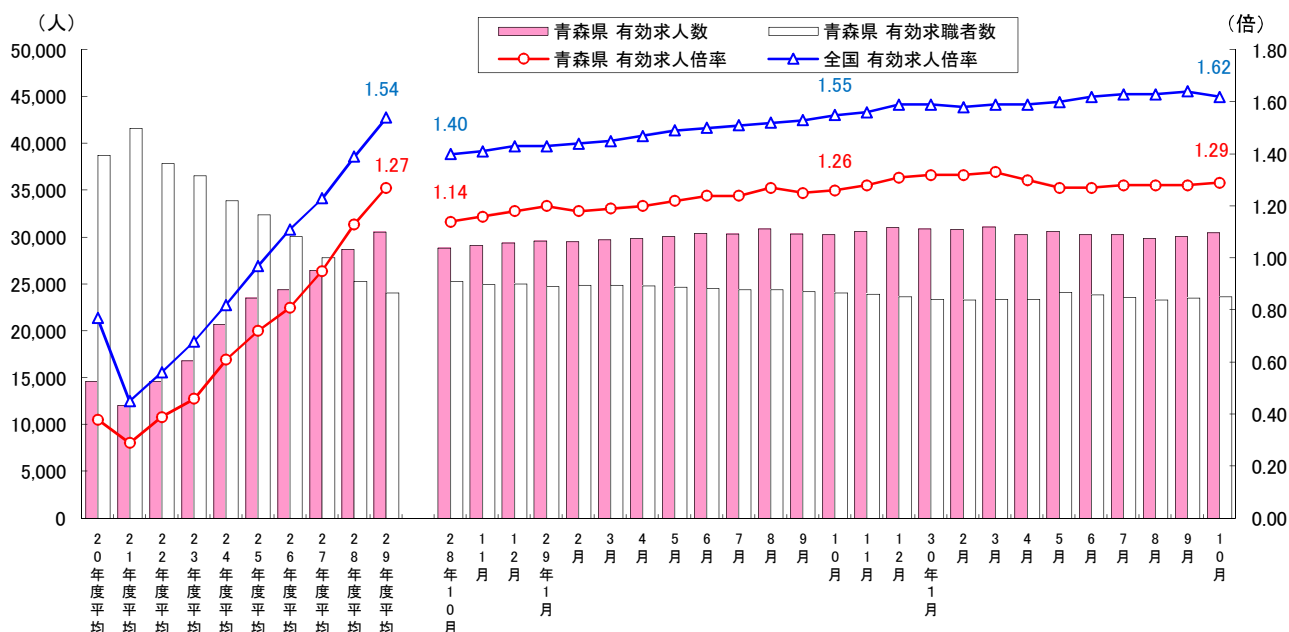
(平成30年10月)

青森労働局

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

10月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.3%増加し30,474人、有効求職者数(同)は0.7%増加の23,677人で、有効求人倍率(同)は1.29倍となり、前月に比べ0.01ポイント上回った。就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.39と前月と同水準となり、受理地別の倍率を0.10ポイント上回った。

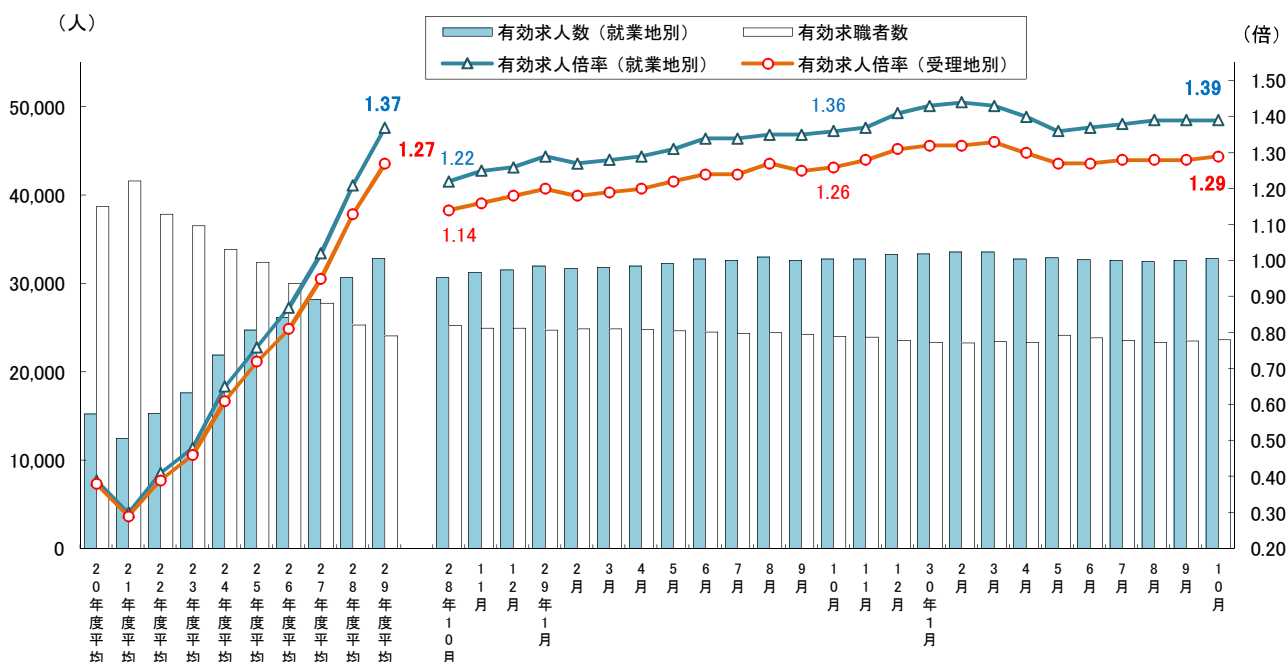
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

## 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)

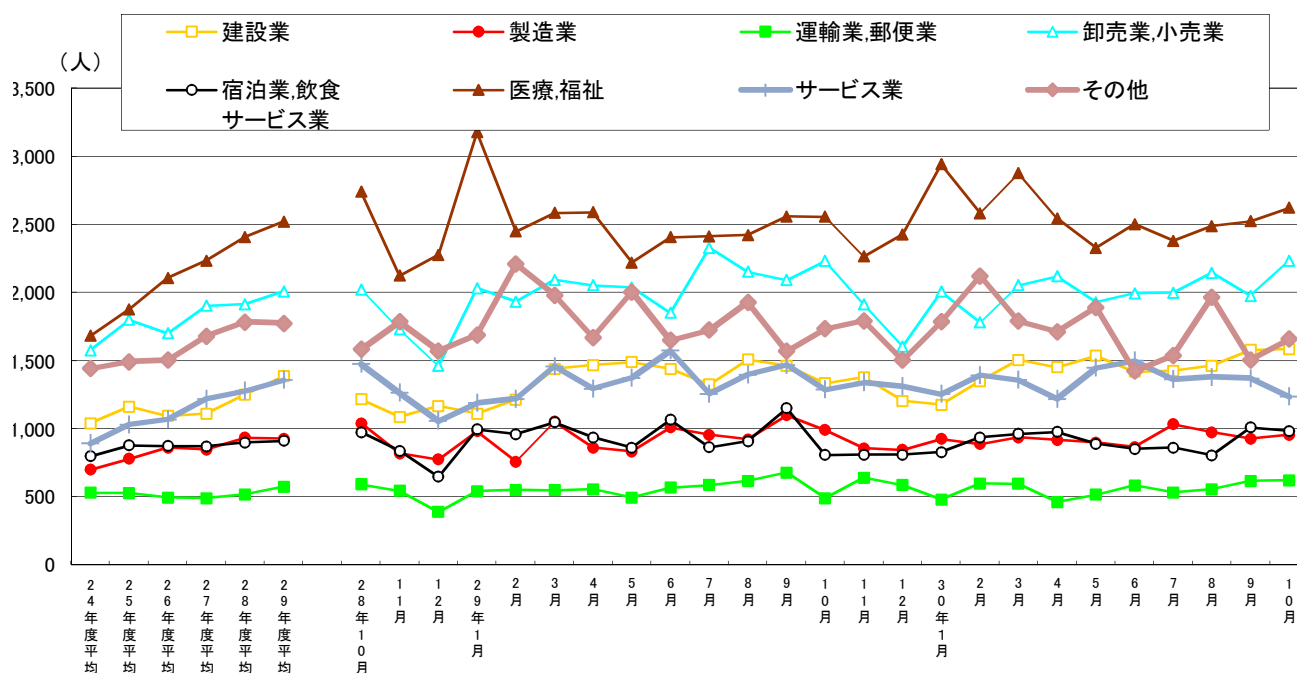


全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。  
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

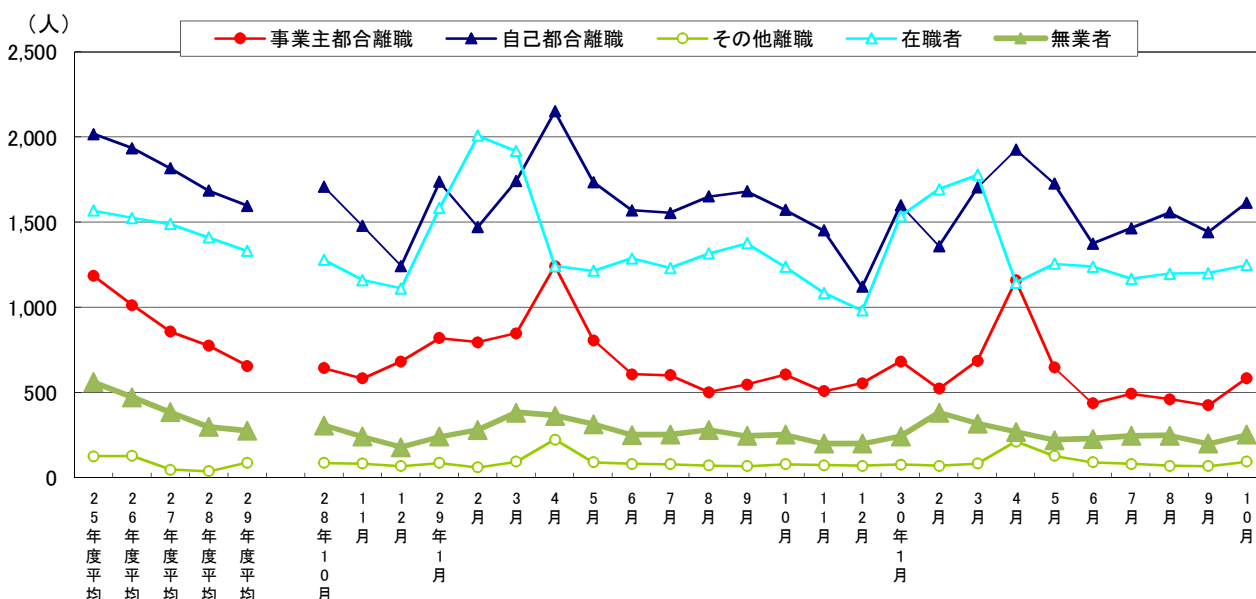
10月の新規求人数(原数値)は前年同月比4.1%(465人)増加の11,899人。  
 主な産業別で前年同月と比較すると、建設業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等で増加し、製造業、サービス業等で減少した。  
 製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業等で増加したが、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等で減少した。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比1.2%(45人)増加の3,796人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.8%(10人)、離職者は1.5%(35人)増加し、無業者は前年度と同数の252人となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は3.5%(21人)の減少、自己都合は2.7%(42人)の増加となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

10月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.47倍となり、前年同月を0.04ポイント上回った。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



H30.10	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	21,972	5,667	5,114	4,084	1,029	740	1,951	1,202	1,040	1,145
有効求人数	32,211	9,779	8,116	5,585	1,397	1,135	1,977	1,589	1,556	1,077

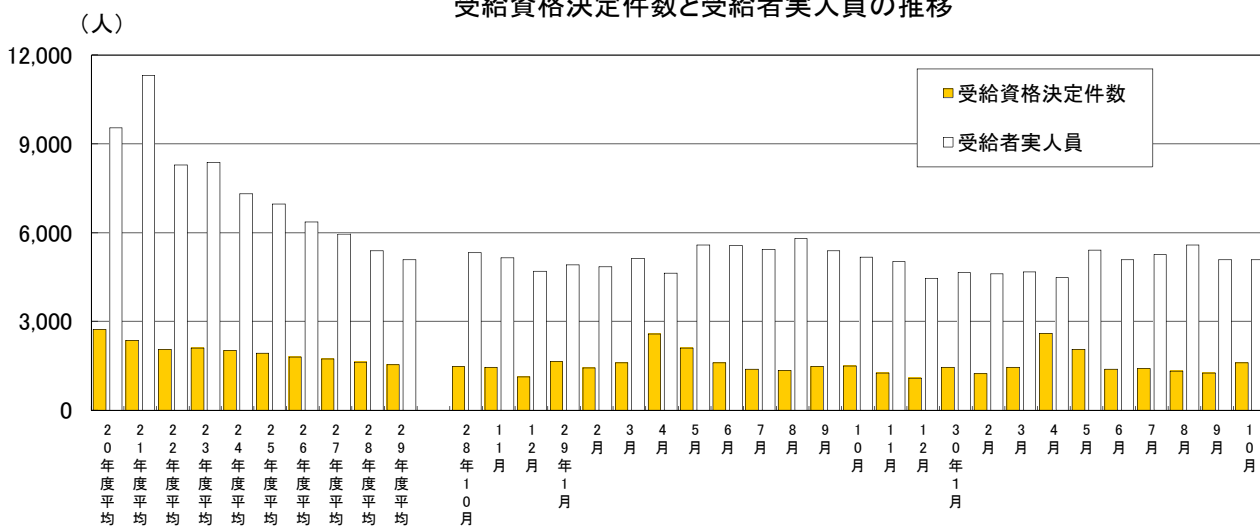
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比1.9%(99人)減少、前月比では0.3%(14人)減少の5,086人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比6.5%(98件)増加、前月よりも26.4%(335件)増加し1,605件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比13.1%(41人)減少、前月比9.2%(23人)増加し273人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

